



エコロジー建築とリフォームの情報紙 エコバウリフォーム・ニュース

12月号 *エコロジー x バウビオロギ- (建築と生態学を融合させた人間中心の建築設計です)

1920年代の新興住宅地をリノベーション / < オランダ・ウエスターパーク

今年のヨーロッパ・エコバウ建築視察はオランダ・アムステルダム〜ライン川を南下、ドイツ・フランクフルト迄6都市20の【エコロジー建築】を視察。今月より現地レポートを連載いたします。

アムステルダム近郊のこの1920年代の古い町並みは2000年から【エコ・エリア】として新しいプロジェクトを導入、省エネ率50%を達成しました。緑の多い景観、タウン内の30原は【水】のエコロジーを担い雨水、排水を浄化しています。

6%の敷地に600世帯が暮らしていますが車の乗り入れは禁止で駐車場は外部に100台しかありません。

住民の環境意識は高いといいますがちょっと不便では？環境先進国ドイツですら駐車場は1世帯に1.5台が義務付けですから…オランダの自転車の多さもエコ意識というよりダジャアカウント【割り勘】発祥地と言われるオランダの伝統的な【質素節約生活】がそうさせているのかも知れません。



北側断熱は煉瓦タイルと3層ガラスで閉じ、南側開口から日射を入れたUVの板張り



< 昔のアムステルダムへの水道中継ポンプ場もリノベーション

アムステルダム近郊のこのウエスターパーク集合住宅にもう一つの【エコ・エリア】が？…それは80年前の給水塔と管理棟。

アムステルダムの給水ポンプ場の名残を今に伝えレストランとしてリノベーションされています。

外観の煉瓦造は壊さずそのまま、3層ガラスの窓に高効率熱交換装置はヨーロッパで進む省エネ基準の【パッシブ・ハウス】カフェレストランの片隅に昔のポンプが綺麗に残され廊下にはかつてここが給水場としてオランダ社会に貢献したことを示す写真パネルがあります。20年で違う街並みに変わる日本から欧州にでかけ誰もが美しい街並みに感動するのは、住宅を含む建物が個人所有と同時に社会資産として簡単には壊さない歴史的背景があるからです。

日本バウビオロギ-研究会正会員 ㈱アップル 大竹清彦



安全な自転車専用道



★【建築と生物学】を結ぶ【バウビオロギ-建築】★

日本には自然とかがわる【しつらえ】に親しみ自然と共に暮らす習慣がありました。

『エコバウ・リフォーム』は自然素材を多用する私達の考えが詰まった

『エコロジーで健康』なコンセプトリフォーム。アップルで推進中です!!



ヨーロッパの住宅以外の『エコバウ建築』を視察して…

第1回・水と光と緑と自然素材の芸術・省エネ建築/オランダING銀行本部



元々、不規則な配置の10棟の建物は雨水集積を兼ねた中庭で結び直し【雨水】は様々なシーンで活用。この階段の手摺りの流水はまるで【流形彫刻】のようでした。この流水は館内の



中庭で雨水を蓄積し、さまざまに活用 内部は、芸術作品で溢れ自然塗料で仕上げた天井の木製パネルと漆喰の壁など上質でハイセンスな雰囲気でした。 Amsterdam-Holland

昨年のリーマン・クライシス以降、オランダも同じ金融危機を迎えましたが、族議員のいないヨーロッパの銀行の回復は非常に早くこの新生オランダING銀行もそのひとつ。築22年のIDNMB銀行は芸術、自然素材と緑、水、太陽光が一体となるオーガニックビルにリノベーションされING傘下に。



温度調節する役割と静かな廊下に心地よい白音を流す目的でもあります。建物自体は高効率なパッシブハウス以前の建物であり窓は2重ガラスのままですが、ヨーロッパで主流の高効率熱交換型換気システムが省エネに貢献しています。



●エコ建築&環境の取組みは。。。アップル www.reform-apple.com トピックス

★【ヨーロッパ・エコロジー建築報告会】

ヨーロッパですすむ省エネ基準・パッシブハウスなど盛りだくさんの情報をご報告します。

★12月14日(月)15~17:00

★下野市・コミュニティセンター2階



弊社ホームページに掲載中です



昨年のエコバウ建築報告会 主催:下野市生活学校やよい会

★リフォームは建築です★ リフォームは建設業許可、管理建築士のいる(株)アップルまで!

ロハス・デザイン&エコロジー・リフォーム
ECOBAY REFORM

リフォームアップル自治医大店
URL <http://www.reform-apple.com>

リフォームアップル自治医大店
0120-393-897
栃木県下野市祇園1-20-1 〒329-0434
(自治医大駅東口・足銀すぐそば)
☎0285-44-8208 (fax共通)
ホームページで実例を多数ご紹介中。